算数復習テキスト

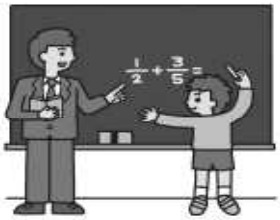
～６年生になるまでに～

	小学校
年　　組　　番　氏名	

※冊子にした際に、１つの内容が見開きとなるようにページを調整しています。

算数復習テキスト　目次

○「内容①～⑫」が、４年～５年１学期までの内容になります。
（⑬～⑮は、５年２，３学期で学習する内容です。）



○ ６年生になるまでに、繰り返し問題を解いて、６学期の学習に備えましょう。

内　　容		ページ	答え	学習予定日
※プレテスト問題				
内容①	整数	２，３	３２	
内容②	小数	４，５	３３	
内容③	分数	６，７	３４	
内容④	小数×(÷)整数	８，９	３５	
内容⑤	小数×小数	１０，１１	３６	
内容⑥	小数÷小数	１２，１３	３７	
内容⑦	角度	１４，１５	３８	
内容⑧	三角形と四角形	１６，１７	３９	
内容⑨	計算の順序と工夫	１８，１９	４０	
内容⑩	面積	２０，２１	４１	
内容⑪	直方体と立方体	２２，２３	４２	
内容⑫	角と角度　合同	２４，２５	４３	
内容⑬	面積②	２６，２７	４４	
内容⑭	分数②	２８，２９	４５	
内容⑮	割合	３０，３１	４６	
※答えのページ　p32～				

☆の問題は、過去の全国学力・学習状況調査に出された問題（平均正答率）です。

＜テキスト 内容① 整数 ＞

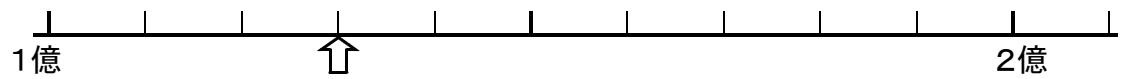
整数のしくみや表し方を思い出し、10倍・100倍した数、四捨五入、整数の計算ができるようになりましょう。

＜例題1＞

① 3000は、1000を(　　)こ集めた数。　3000は、100を(　　)こ集めた数。

② 510を100倍した数は(　　)。　510を1／10した数は(　　)。

③



ここの数は(　　)

(1) (　　)にあてはまる数をかきましょう。

① 100を45こ集めた数は(　　)。　☆H21 (A) 71%

② 37000は、1000の(　　)こ分。また、100の(　　)こ分。

③ 5000万は、1万を(　　)こ集めた数。

④ 60を100こ集めた数は(　　)。

⑤ (　　)を10こ集めると3500。

(2) 次の計算をしましょう。(ひっ算が必要なときは、あいているところにかきましょう。)

① 153＋49＝　☆H21 (A) 95%

② 806－9＝　☆H23 (A) 88%

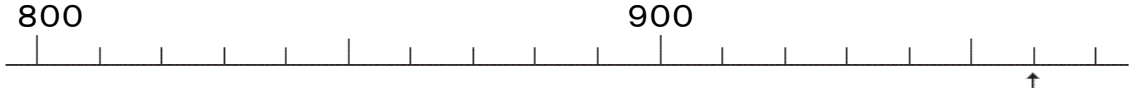
③ 725×8＝　☆H21 (A) 86%

④ 204÷4＝　☆H21 (A) 96%

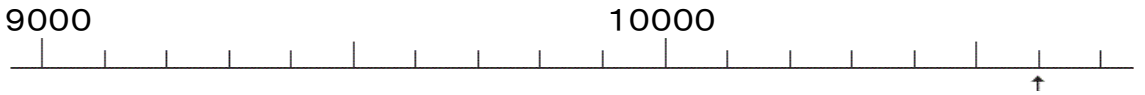
⑤ 300×400＝

⑥ 900÷30＝

(3) 数直線の↑が表す数をかきましょう。



①　(　　)



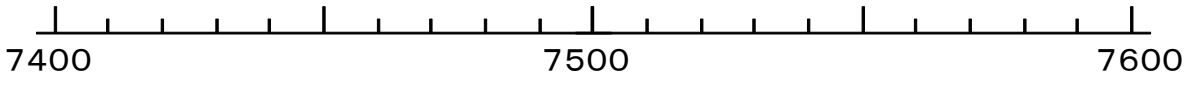
②　(　　)

☆H21 (A) 63%

＜例題2＞

① 83764 を一万の位までのがい数にすると(　　)。
　83764 を上から2けたのがい数にすると(　　)。

② 四捨五入して百の位までの概数にしたとき、7500になる整数のはんいを、「以上」「以下」「未満」を使って表しましょう。



(　　)

③「346＋289」の答えを百の位までのがい数で求めましょう。(　　)
　※先に、百の位までのがい数にしてから計算します。

(1) 74291を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを、下の**1**から**4**までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。　☆H21 (A) 78%

1　70000　　**2**　74000　　**3**　74300　　**4**　75000

(2)積や商を見積もりましょう。(積・商は、ふつう上から1けたのがい数にして計算します)

① 289×397＝
※３００×４００になるから…

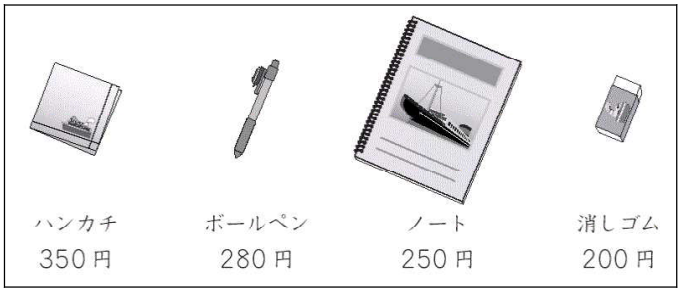
② 873×421＝

③ 2961÷63＝
※３０００÷６０になるから…

④ 80580÷395＝

＜チャレンジ問題＞　☆H21 (B) 34%　※一部省略

　よう子さんたちは、おみやげ売り場に来ています。売られているものの定価は、右のとおりです。



　よう子さんは、ハンカチ、ボールペ ン、ノート、消しゴムの中から2種類の品物を買おうと思っています。使え る金額は500円です。よう子さんは、 右のことに気が付きました。

ハンカチを買うと，もう１種類の品物が買えません。

　ハンカチを買うと、もう1種類の品物が買えないわけ を、式と言葉を使って書きましょう。

＜テキスト 内容② 小数＞

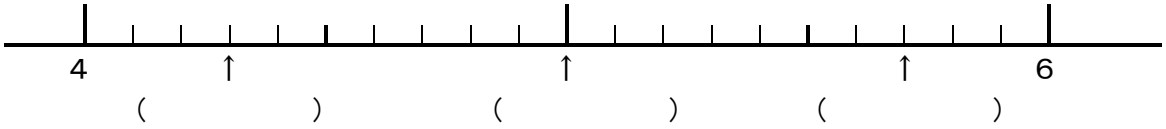
小数のしくみや表し方を思い出し、小数を10倍・100倍・10分の１・100分の１したり、小数のたし算やひき算をしたりできるようになりましょう。

＜例題１＞

① ０．１を10倍した数は、(　　)。
　０．００１を10倍した数は、(　　)。
　０．１を10分の1にした数は、(　　)。

② ０．８は、０．１を(　　)こ集めた数。
　３．２は、０．１を(　　)こ集めた数。
　３．２８は、1を(　　)こ、０．１を(　　)こ、０．０１を(　　)こ集めた数。

③ 数直線の↑が表す数をかきましょう。



(　　)　(　　)　(　　)

(1)(　　)にあてはまる数をかきましょう。

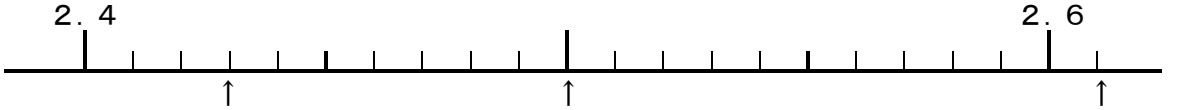
① 1は、０．１の(　　)倍、０．０１の(　　)倍。
② ０．１は1の(　　分の1)、０．０１は1の(　　分の1)。
③ 10を100分の1した数は、(　　)。
④ ０．００１を100倍した数は、(　　)。

(2)(　　)にあてはまる数をかきましょう。

① ３．５は、０．１を(　　)こ集めた数。
② 10を6こ、1を8こ、０．１を3こあわせた数は、(　　)。 ☆H20(A)89%
③ ０．０１を52こ集めた数は、(　　)。
④ ０．０１を368こ集めた数は、(　　)。
⑤ ２．０３は、1を(　)こ、０．１を(　)こ、０．０１を(　)こ集めた数。
⑥ 1を5こ、０．１を3こ、０．００１を8こ集めた数は、(　　)。

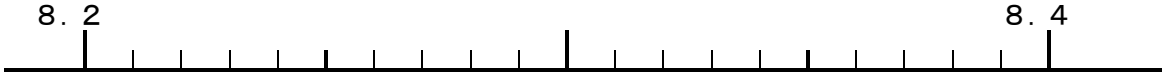
(3)次の問題にこたえましょう。

① ↑が表す数をかきましょう。



①(　　)　②(　　)　③(　　)

② 「８．３」「８．２５」「８．３７」 を数直線にかきましょう。



（4）次の小数を、小さい順にならべましょう。

① ア 1．43　イ 1．46　ウ 1．62　　（　　→　　→　　）

② カ 0．093　キ 0．12　ク 0．1　　（　　→　　→　　）

③ サ 6．098　シ 6．17　ス 6．157　（　　→　　→　　）

（5） $\frac{7}{10}$ は、次のどれと同じ大きさですか。（　　）　　☆H20(A)80%

1 70　　**2** 7　　**3** 0．7　　**4** 0．07

＜例題２＞　次の計算をしましょう。

① 0．3＋0．6＝　　② 0．8－0．6＝

③ 3．7＋8．47＝　　④ 7．39－4．3＝

（1）次の計算をしましょう。

① 3．2＋4．7＝　　⑥ 0．9－0．4＝

② 1．4＋1．8＝　　⑦ 1．1－0．6＝

③ 3．5＋1．5＝　　⑧ 1－0．4＝

④ 3．3＋4＝　　⑨ 5．4－2．4＝

⑤ 9＋1．3＝　　⑩ 8－0．5＝　　☆H22(A)83%

ここで筆算をしましょう

＜チャレンジ問題＞　工夫して計算しましょう。

（1） 2．4＋8．7＋7．6　　（2）0．7×8 ＋ 0．3×8

※計算の順序をかえたり、まとめてかけたりできないか考えましょう。

＜テキスト 内容③ 分数＞

分数の表し方を思い出し，分数の大きさくらべ，同分母の分数どうしのたし算・ひき算の計算ができるようになりましょう。

＜例題１＞

① $\frac{1}{5}$ の3つ分は，（　　）ｍ。

② $\frac{1}{5}$ ｍの７つ分を，仮分数で表すと（　　）ｍ。帯分数では（　　）ｍ。

③帯分数を仮分数に、仮分数を帯分数（整数）になおしましょう。

$1\frac{4}{5}$　　$2\frac{5}{6}$　　$\frac{11}{3}$　　$\frac{8}{2}$

④（　　）にあてはまる不等号をかきましょう。

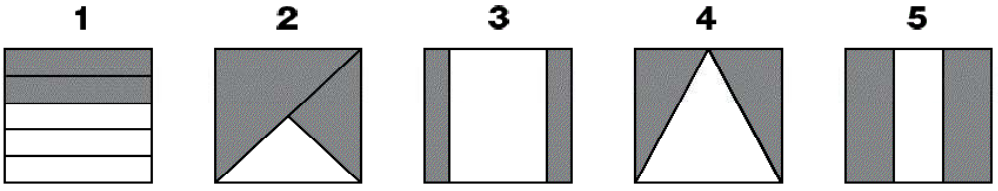
$\frac{15}{6}$（　　）$3\frac{1}{6}$　　$\frac{9}{4}$（　　）$2\frac{2}{4}$

（１）（　　）にあてはまる数をかきましょう。

① $\frac{1}{7}$ ｍの４つ分は，（　　）ｍ。

② 次の正方形のうち，$\frac{2}{3}$ が黒くぬられているのは，どれですか。
下の **1** から **5** までの中から１つ選んで，その番号を書きましょう。

答え（　　）



☆H19(A)88%

（２）帯分数を仮分数に、仮分数を帯分数（整数）になおしましょう。

$1\frac{3}{8}$　　$3\frac{5}{6}$　　$\frac{9}{3}$　　$\frac{16}{7}$

（３）（　　）にあてはまる不等号をかきましょう。

$\frac{9}{6}$（　　）$1\frac{1}{6}$　　$2\frac{3}{5}$（　　）$\frac{16}{5}$

＜例題２＞

$\frac{4}{5}+\frac{3}{5}$ の答えが $\frac{7}{5}$ になることを、もとになる分数のいくつ分で考えよう。

① $\frac{4}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の（　　）つ分。$\frac{3}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の（　　）つ分。

②合わせると，$\frac{1}{5}$ が（　　）こ。$\frac{1}{5}$ が（　　）こで，（　　）になる。

（４）次の計算をしましょう。

① $\frac{8}{9}+\frac{5}{9}$　　② $\frac{4}{7}+\frac{5}{7}$

③ $\frac{9}{11}-\frac{7}{11}$　　④ $1\frac{1}{5}-\frac{4}{5}$

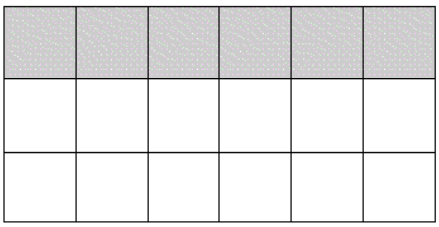
⑤ $3-\frac{2}{5}$　　⑥ $4-\frac{7}{8}$

⑦ $3\frac{4}{6}+1\frac{1}{6}$

⑧ $3\frac{5}{6}-1\frac{4}{6}$

＜チャレンジ問題＞　H22(A)64%

この長方形の黒い部分を表す分数を、下の１から４までの中から１つ選んで、その番号を書きましょう。また、そう答えたわけを説明しましょう。（　　）



1 $\frac{1}{4}$　　2 $\frac{1}{3}$　　3 $\frac{6}{12}$　　4 $\frac{2}{3}$

＜テキスト 内容④ 小数×整数、小数÷整数 ＞

小数×整数や小数÷整数の計算の仕方を説明できるようになりましょう。また、これらの計算ができるようになりましょう。

…その前に、「～をもとにして考える計算」を思い出しましょう！！

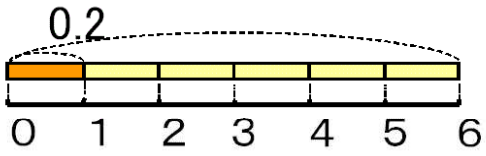
○「200×3」の計算は、「100」をもとにして考えると、「2×3＝6」で計算できます。
この6は、100が6こ分なので、答えは600になります。
○「0．5＋0．3」の計算は、（　　）をもとにして考えると、5＋3＝8で計算できます。
この8は、0．1が8こ分なので、答えは0．8になります。

→この考え方を、ここの学習でも使います。

＜例題1＞

0．2Lのジュースを6本買いました。ジュースは全部で何Lありますか。

式



この式の計算の仕方を、「0．1」をもとに　して説明しましょう。

①0．2Lは、0．1Lが（　　）こ。
②0．1Lをもとに考えると、（　　）×（　　）＝（　　）
③0．1が（　　）こで、（　　）L。

（1）上の例題のように、次の文章問題の式を立てて、計算の仕方を「0．1」をもと　にして説明しましょう。

①長さが1．2mのテープを3人で等分します。1人分は何mになりますか。

式　　答え

＜計算の説明＞
①1．2mは、（　　）mが、（　　）こ。
②0．1mをもとにして考えると、（　　÷　　＝　　）。
③0．1mが（　　）こで、（　0．4　）m。

＜例題2＞　赤のテープをもとにして、ほかのテープの長さを表しましょう。

テープ	長さm
赤	**2**
青	5
黄	4
緑	1

① 黄のテープの長さは、赤のテープの長さの何倍でしょう。
式　　答え

② 青のテープの長さは、赤のテープの長さの何倍でしょう。
式　　答え

③ 緑のテープの長さは、赤のテープの長さの何倍でしょう。
式　　答え

☆H20（A）55%類似問題

（1）体重が8kgの犬の体重は、5kgのねこの体重の何倍になりますか。

式　　答え

＜例題3＞

① 0．4×6＝　② 0．07×8＝　③ 2．6×9＝

④ 2．4÷3＝　⑤ 0．48÷8＝　④ 8．4÷7＝

（1）筆算で計算しましょう。

①18．5×4　②0．25×72　③13．9×7　☆23（A）83%

④9．2÷4　⑤68．4÷36　☆20（A）77%　⑥8．8÷11

（2）わりきれるまで計算しましょう。

① 6÷5　②4．9÷14　③35÷28

☆22（A）85%

＜チャレンジ問題＞

2，4，5，7の数字を1回ずつ使って、それぞれアとイのかけ算とわり算の式をつくります。

ア □.□□ × □

イ □.□□) □

① 積、商がいちばん大きくなるのは、それぞれどんな式のときですか。

② 積、商がいちばん小さくなるのは、それぞれどんな式のときですか。

＜テキスト　内容⑤　小数×小数＞

小数をかけることの意味や計算の仕方を理解し、筆算で計算ができるようになりましょう。

〈例題１〉次の計算をしましょう。

①　７×０．３＝　　②　０．７×０．３＝

（1）１mのねだんが50円のひもを1．2m買いました。代金を求める式を書きましょう。

式（　　）

※計算の仕方を次の2つの考え方で説明しています。（　　）に数を入れましょう。

①「0．1m」の代金から	②12mの代金から
・1mが50円だから、0．1mの代金は、 50÷10＝（　　） ・1．2mは、0．1mの（　　）倍 だから、　5×12＝（　　）	・12m分の代金は、 50×12＝（　　） ・1．2mは、12mの $\frac{1}{10}$ だから、 600÷（　　）＝（　　）

（2）（　　）にあてはまる数を入れましょう。

1．8×0．4 ＝ 1．8 ×4 ÷（　　）

＝（　　）÷（　　）

＝（　　）

１．８×０．４は、０．４を１０倍した４をかけてから、１０でわると求めることができます。

（3）次の計算をしましょう。

① 30×1．2＝　　② 8×0．5＝

③ 0．3×0．2＝　　④ 0．5×6＝

⑤ 1．6×0．08＝　　⑥ 27×3．4＝　　☆22 (A) 85%

⑦ 2．3×0．45＝　　⑧ 0．35×0．26＝

※必要な場合は、ここに筆算をかきましょう。

＜チャレンジ問題１＞

1kg4000円のお茶を0．2kg買って、千円札を出しました。おつりは何円ですか。

（式）

（答え）

＜チャレンジ問題2＞ ☆H19 (A) 52%

答えが「210×0．6」の式で求められる問題を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。 （　　）

1　さとうを0．6kg買って、210円はらいました。このさとう1kgのねだんはいくらでしょう。

2　210kgの大豆を0．6kgずつふくろにつめます。大豆を全部つめるにはふくろはいくついるでしょう。

3　1mのねだんが210円のリボンを0．6m買いました。リボンの代金はいくらでしょう。

4　赤いテープの長さは210cmです。赤いテープの長さは白いテープの長さの0．6倍です。白いテープの長さは何cmでしょう。

＜チャレンジ問題3＞ ☆H20 (A) 45%

下にあげた4つの式の中で、□ は0でない同じ数を表しています。

計算の答えが □ の表す数より大きくなるものを、下の1から4までの中から全て選んで、その番号を書きましょう。 （　　）

1　□ × 1．2　　2　□ × 0．7

3　□ ÷ 1．3　　4　□ ＋ 0．8

＜チャレンジ問題4＞ ☆H21 (B) 38%

よう子さんたちは、バスに乗って港博物館に行きます。

右の表は、乗車するバスの時刻表の一部です。

このバス停には、午前9時40分に集合します。港博物館までは、バスで20分かかります。

午前10時20分までに、港博物館に着くためには、何時何分に発車する予定のバスに乗ればよいですか。その時刻を全て書きましょう。

時	港博物館行き 時刻表			
6	10	40		
7	10	40		
8	10	30	50	
9	10	25	45	55
10	10	25	45	55
11	10	30	50	

＜ テキスト 内容⑥ 小数÷小数 ＞

整数÷小数、小数÷小数の式の立て方や計算の仕方がわかると共に、小数÷小数の答えを筆算を使って求められるようになりましょう。

＜例題１＞

① 3mで96円のリボンがあります。リボン1mのねだんは、何円ですか。

式（　　）　　答え（　　）

② 上の問題の言葉の式を書いてみましょう。

（　　）÷（　　）＝（　　）

③ 0．8mで200円のリボンがあります。1mのねだんを求める式は、

（　　）になります。

④ この式の計算の仕方を、「わり算の計算のきまり」をもとに考えます。

200÷0．8 ＝（200×＿＿＿）÷（0．8×＿＿＿）

＝ ＿＿＿＿＿＿＿＿ ÷ ＿＿＿＿＿＿＿＿

＝

（1） 2．4mで96円のひもがあります。ひも1mのねだんは、何円ですか。

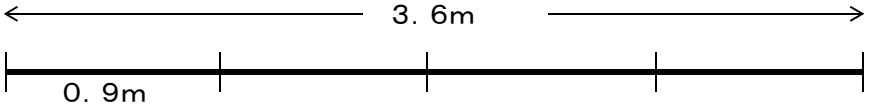
筆算→

式（　　）

答え（　　）

＜例題2＞

3．6mのゴムひもを0．9mずつ切ってゴム輪を作ります。ゴム輪は何個できますか。図をもとに式を立てて計算しましょう。



式（　　）　　答え（　　）

※図を見て、答えが正しいかどうか確かめましょう。

（1）小数点の位置に気をつけて計算しましょう。

①2．8÷0．4＝　　②12÷0．6＝

☆H19 (A) 74%
☆H23 (A) 81%

③0．36÷0．04＝　　④3．6÷0．06＝

＜例題3＞　筆算を使って計算しましょう。

① 48．1÷1．3　　② 5．2÷0．6

☆H21(A)81%

※商を四捨五入で、1／10の位までの概数で

(1)筆算で計算しましょう。

① 9．5÷0．38　　② 36．18÷5．4

(2)次の小数の計算を筆算で計算し、商を1／10の位までの概数で表しましょう。

① 4．68÷3．8　　② 7．53÷4．8

＜チャレンジ問題＞

1．55mのテープから、0．25mのテープを切り取っていくと、何本取れて、何mあまりますか。

（式）

（答え）

＜テキスト 内容⑦　角度 ＞

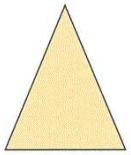
角の意味や表し方を思い出し、分度器を使って、角の大きさを正しくはかったり、角をかいたりできるようになりましょう。　　**準備物:ものさし　分度器**

＜例題1＞

① 次の(　　)にあてはまる言葉や数をかきましょう。

○　1つの(　　)から出ている2つの辺がつくる形を(　　)といいます。

○　二等辺三角形では、(　　)つの角の大きさが等しく、正三角形では、(　　)つの角の大きさが等しい。

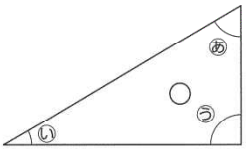

二等辺三角形

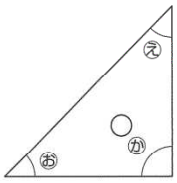
正三角形

② 三角定規の角の大きさを見て答えましょう。

○　直角になっているのは、どの角ですか。

(　　)と(　　)

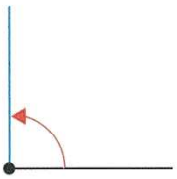


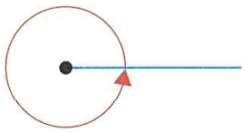


○　次の角の大きさをかきましょう。

角㋐(　　)　角㋑(　　)　角㋒(　　)　角㋓(　　)

(1)　次の角度を求めます。(　　)にあてはまる数をかきましょう。



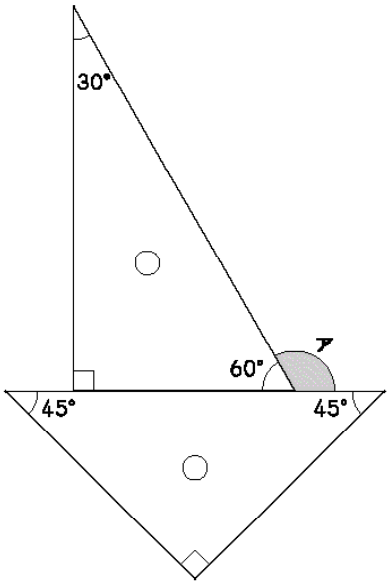


①　直角1つ分の角度は【　　】°

②　半回転の角度は、直角【　　】つ分で【　　】°

③　1回転の角度は、直角【　　】つ分で【　　】°

(2)　1組の三角定規を右の図のように置くと、角アの大きさは何度ですか。　　☆H22(A)80%

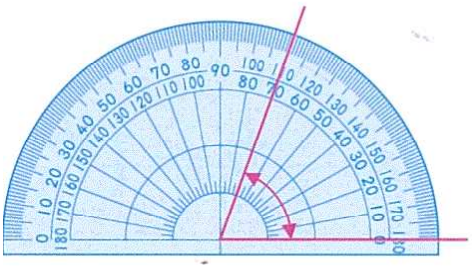


(式)

(答え)

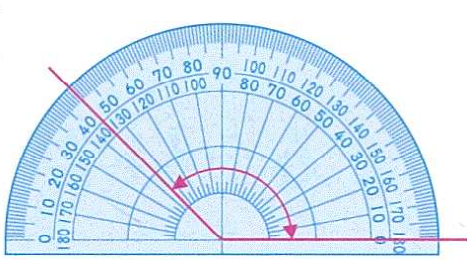
（3） 次の角度は何度ですか。

①



（①　　）

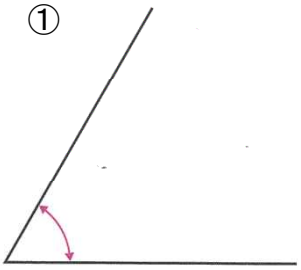
②



（②　　）

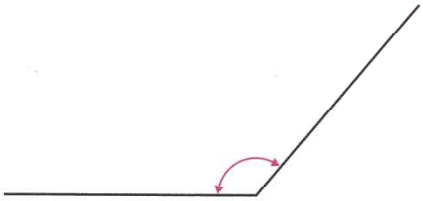
（4） 分度器を使って、次の角度をはかりましょう。

①



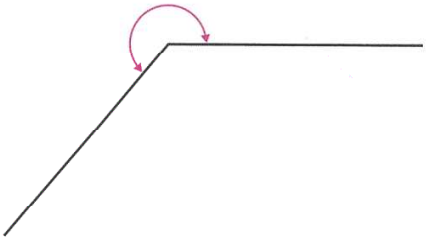
（①　　）

②



（②　　）

③



（③　　）

（5） 点アを頂点として、次の大きさの角をかきましょう。

① 45°

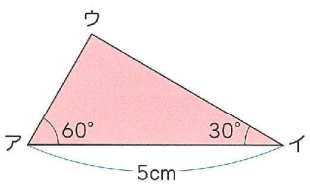
ア

② 150°

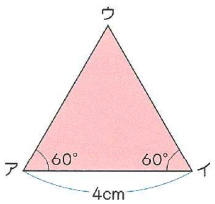
ア

（6） 分度器を使って、次のような三角形をかきましょう。

①



②

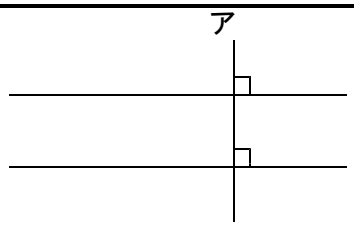


＜テキスト　内容⑧　四角形＞

垂直や平行の意味を知り，垂直や平行な直線をかけるようになりましょう。
平行四辺形，台形，ひし形の意味やせいしつを知りかけるようになりましょう。

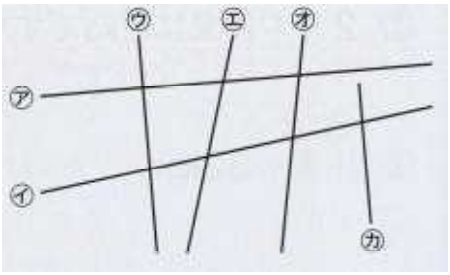
〈例題１〉

①　２本の直線が（　　）に交わるとき，
　この２本の直線は（　　）であるといいます。
②　右の図で直線アと直線イは（　　）です。
③　１本の直線に（　　）な２本の直線は
　（　　）であるといいます。
④　右の図の直線イと直線（　　）は平行です。

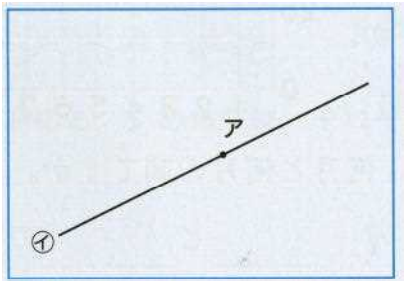


（１）下の図で直線アに垂直な直線はどれですか。記号で答えましょう。

（　　）
と
（　　）

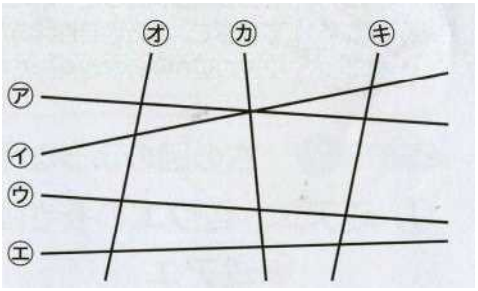


（２）点アを通って直線イに垂直な直線をかきましょう。

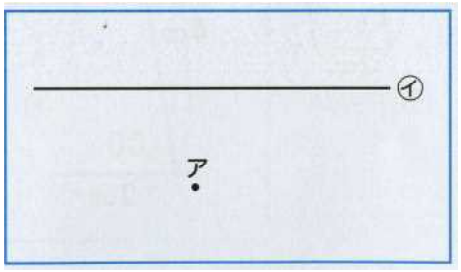


（３）下の図で平行になっている直線はどれとどれですか。記号で答えましょう。

（　　）と
（　　）
（　　）と
（　　）



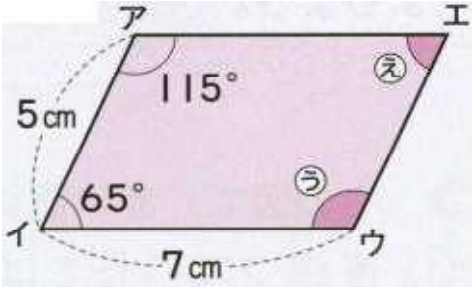
（４）点アを通って直線イに平行な直線をかきましょう。



〈例題２〉

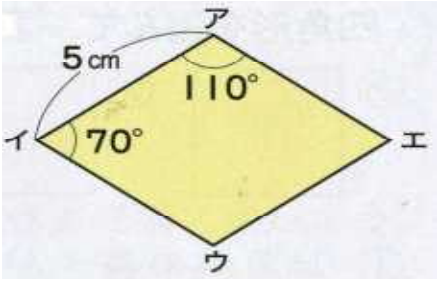
①台形は，向かいあった（　　）の辺が平行な四角形です。
②平行四辺形は，向かいあった（　　）の辺が平行な四角形です。
　また，向かいあった（　　）の大きさは等しく，向かいあった（　　）の長さも等しいです。
③ひし形は，４つの（　　）の長さがみんな等しい四角形です。
　ひし形では，向かいあった辺は（　　）で，向かいあった（　　）の大きさは等しくなっています。

（１）下の図のような平行四辺形があります。
　①辺アエ，辺ウエの長さは何cmですか。
　　辺アエ（　　）
　　辺ウエ（　　）
　②う，えの角度は何度ですか。
　　う（　　），え（　　）

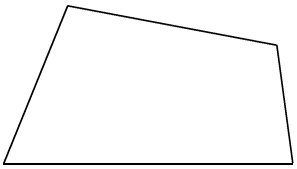


（２）右の図のようなひし形があります。
　①辺イウの長さは何cmですか。
　　（　　）
　②次の辺と平行な辺はどれですか。
　　辺アイ（　　）
　　辺イウ（　　）

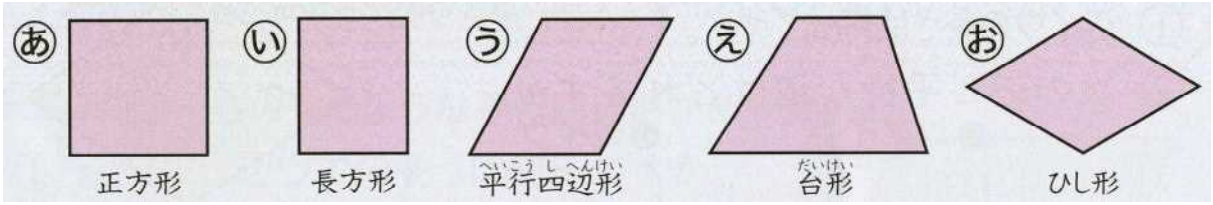
③次の角の大きさは何度ですか。
　角ウ
　（　　）
　角エ
　（　　）



〈例題３〉
右の図のような四角形があります。
①　向かいあった頂点を直線でむすんで
４つの三角形に分けましょう。
②　①でかいた直線を何といいますか。
（　　）

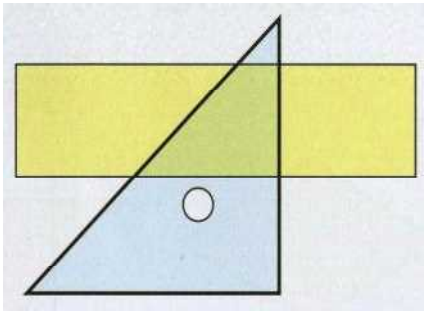


（1）次の①，②，③にあう四角形を全て選んで，記号で答えましょう。



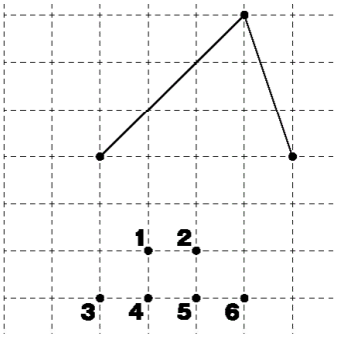
①　２本の対角線の長さが，いつも等しい四角形　（　　）
②　対角線がそれぞれ交わった点で2等分されている四角形　（　　）
③　対角線が交わってできる角が直角の四角形　（　　）

＜チャレンジ問題１＞
長方形のテープに三角定規を重ねてつくった四角形について答えましょう。
①何という四角形ですか。（　　）
②そうなるわけを説明しましょう。



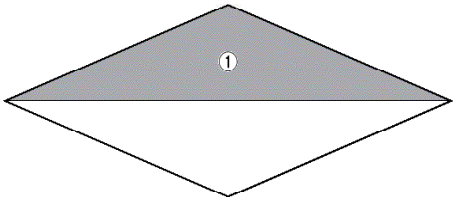
＜チャレンジ問題２＞　☆H22(A)75%

右の方眼紙に平行四辺形をかいています。
もうひとつの頂点（ちょうてん）はどこになりますか。
１から6までの中から1つ選んで、その番号をかきましょう。
（　　）



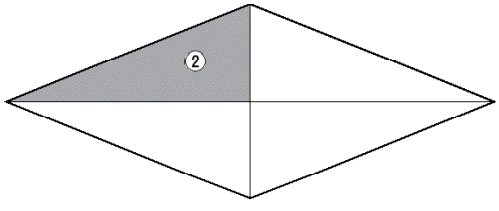
＜チャレンジ問題３＞　H20(A)73%, 64%

(1)　ひし形アを，下の図のように１本の対角線で切ります。
このときにできる①の部分の三角形の名前を書きましょう。



（　　）

(2)　ひし形アを，下の図のように２本の対角線で切ります。
このときにできる②の部分の三角形の名前を書きましょう。

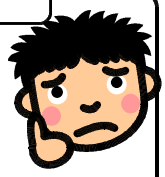


（　　）

＜テキスト　内容⑨　計算の順序と工夫＞

＋、－、×、÷の混じった計算を思い出し、正しい順序での計算、工夫した計算、図から式を考えての計算ができるようになりましょう。

＜例題１＞



①（５００－１００）×３＝　　②（４０－２５）÷５＝

③　５００－１００×３＝　　④　４０－２５÷５＝

⑤　８×６－４÷２＝　　⑥８×（６－４）÷２＝

（１）次の計算をしましょう。

①（５０－３０）×４０＝　　②（１１０－３５）÷２５＝

③　３０×（２１＋９）＝　　④　９０÷（３２－１７）＝

⑤　１２＋６×７＝　　⑥　３２＋１８×３＝

⑦　５０－４５÷９＝　　⑧　１８０－５０×３＝

⑨　９×６＋６÷２＝　　⑩　１２－９÷３×４＝

⑪（１５０＋２５×２）÷５＝　　⑫　１８×（１４－９）÷６＝

（２）１２０円のリンゴを３こと、８０円のかきを３こ買いました。全部でいくらですか。
１つの式の表して計算しましょう。

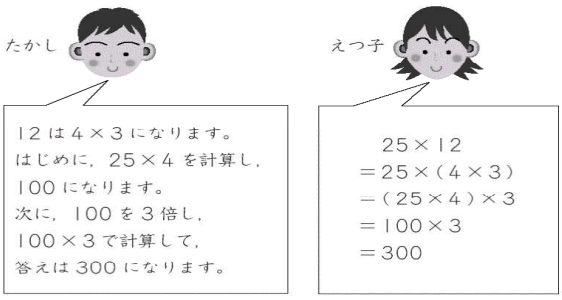
（式）　　（答え）

※式は、２通り考えられます。もう一つの式を考え、計算して答えを確かめましょう。

＜チャレンジ問題１＞ ☆H19(B)58%

１個２５円のチョコレートを１２個買います。さちよさんは、２５×１２の筆算をしようとしましたが、たかしさんとえつ子さんは、筆算をしないで、右のような工夫を思いつきました。

この2人の工夫を使って、32個買うときの代金を計算しましょう。



計算の工夫を、言葉や式を使って書きましょう。

＜チャレンジ問題＞ ☆H20(B)類似問題29%

たか子さんは、お姉さんと2人で買い物に来ています。300円分のおやつを買う予定で、今、105円のチョコレートと、75円のガムを選びました。

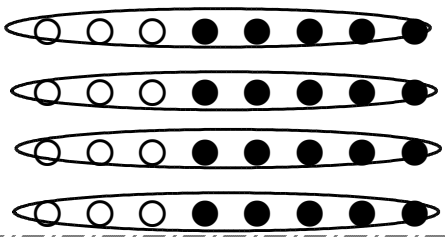
この他に、次の3つの中から2つを選び、300円をこえないようにしたいと考えています。

グミ（７７円）　クッキー（６８円）　せんべい（６０円）

すると、たか子さんのお姉さんが、「3つの中のどれとどれを選んでも、300円をこえてしまうね。」と言いました。

お姉さんが言っていることが正しいわけを、式と言葉を使って書きましょう。

＜チャレンジ問題３＞ 次の4とおりの計算は、どれも下の図の全部の玉の数を求める計算です。わくでかこんだ方法は、①～④のどの式でしょう。



① ４×３＋４×５

② ４×(３＋５)

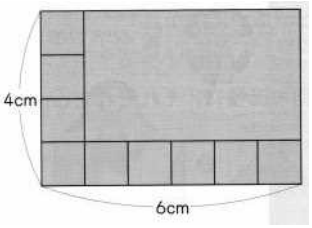
③ ３×４＋５×４

④ (３＋５)×４

＜テキスト　内容⑩　面積＞

広さを表す面積の学習を思い出して，マス目を数える，計算によって求める，広い面積やいろいろな形の面積を工夫して求めることができるようになりましょう。

＜例題1＞　長方形の面積を計算で求める方法を考えよう。



長方形のたてには1㎠の正方形が(　　)こならびます。･･･①

長方形のよこには1㎠の正方形が(　　)こならびます。･･･②

長方形のなかには，1㎠の正方形が全部でなんこありますか。･･･③

①	×	②	＝	③

(1) (　　)にあてはまる言葉を書きましょう。

長方形の面積　＝(　　)×(　　)

正方形の面積　＝(　　)×(　　)

(2) 次の問題の答えを計算で求めましょう。

①たての長さが5cm，横の長さが7cmの長方形の面積

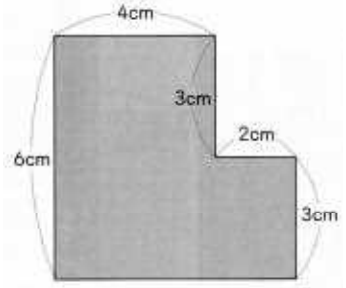
式　　答え

②一辺が6cmの正方形の面積　式　　答え

③面積が48㎠で，横の長さが8cmの長方形のたての長さ

式　　答え

＜例題2＞右の図のような形の面積を工夫して求めましょう。 また、求めた方法が分かるように、図に線を書きこみましょう。

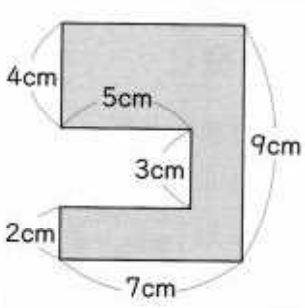


式

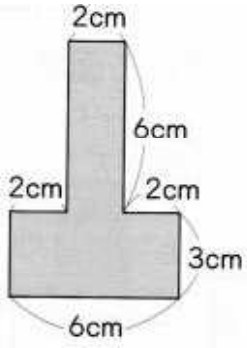
答え

(1)図のような形の面積を工夫して求めましょう。

①



②



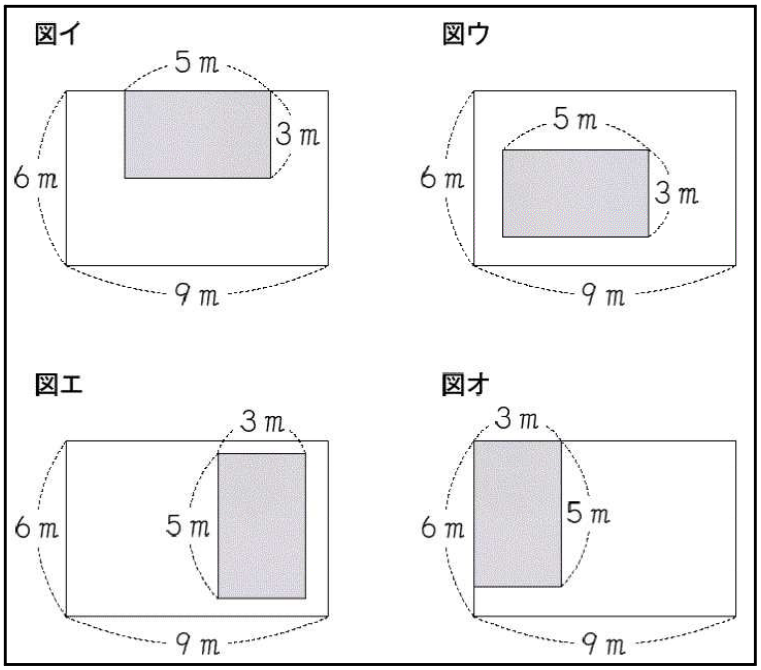
（2）約150㎠の面積のものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

☆H20（A）16%

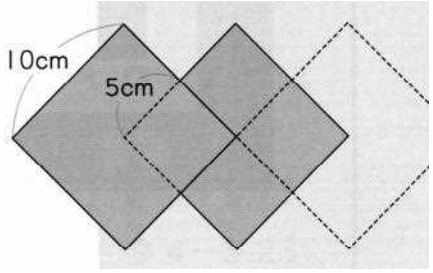
1　切手1枚の面積
2　年賀はがき1枚の面積
3　算数の教科書1さつの表紙の面積　　（　　）
4　教室1部屋のゆかの面積

＜チャレンジ問題1＞　☆H19（B）67%

右の図イ、ウ、エ、オは、たてが6m、横が9mの長方形の形をした花だんです。この中にたてが3m横が5mの花を植えない部分があります。それぞれの白い部分の面積は、全て同じになります。なぜ、面積が同 じになるのですか。そのわけを、言葉や式や図を使ってかきましょう。



〈チャレンジ問題2〉 1辺10 cm の正方形を下の図のように重ね，重なった部分が1辺5cmの正方形になるようにします。①②の面積を求めましょう。



①2枚重ねたときの全体の面積

②5枚重ねたときの全体の面積

＜テキスト　内容⑪　直方体と立方体，体積＞

直方体や立方体の形やつくりを思い出し，面積の求め方をもとにして，直方体や立方体の体積を求められるようになりましょう。

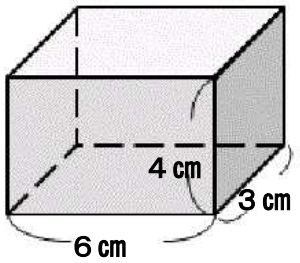
＜例題1＞

① Ａの直方体の体積を求めましょう。

式

答＿＿＿＿＿＿＿＿

A

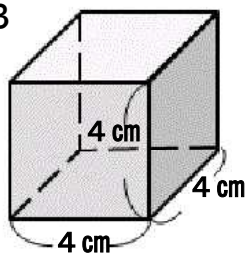


② Ｂの立方体の体積を求めましょう。

式

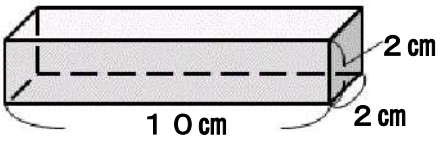
答＿＿＿＿＿＿＿＿

B



（1）次の直方体や立方体の体積を求めましょう。

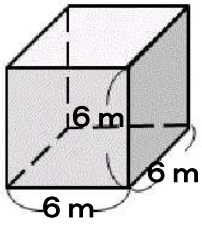
①



式

答＿＿＿＿＿＿＿＿

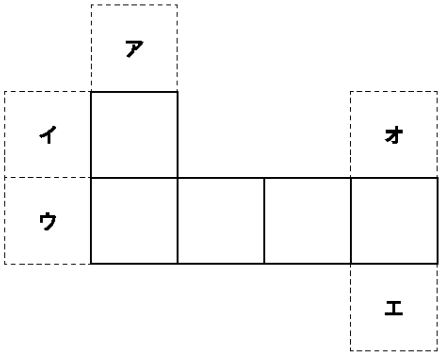
②



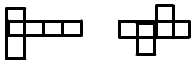
式

答＿＿＿＿＿＿＿＿

（2）立方体の展開図をかいています。完成させるには、あと1つの面をどこにかけばよいですか。（　　）



※　他にどんな展開図があるか考えてみよう！



全部で１１通りあるよ…

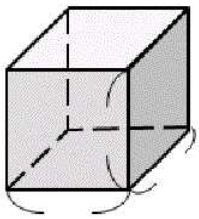
＜例題2＞　1m³ が何cm³ になるかを考えます。

① 1辺が1mの立方体の体積は，（　　）m³です。

② 1m＝（　　）cmです。

③ 100×100×100＝（　　）

④ 1m³＝（　　）cm³



（1）（　　）にあてはまる数をかきましょう。

① 4m³＝（　　）cm³

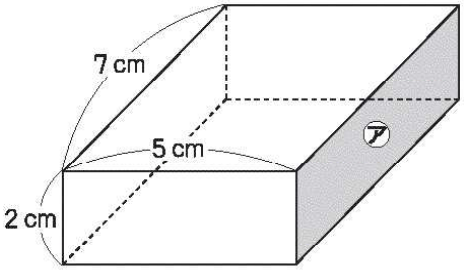
② 0．7m³＝（　　）cm³

③ 3000000cm³＝（　　）m³

（2）右のような立体があります。　☆H23 (A) 87%, 83%

① 黒くぬってあるアの面は、どのような長方形ですか。

→　たて（　　）cm、横（　　）の長方形

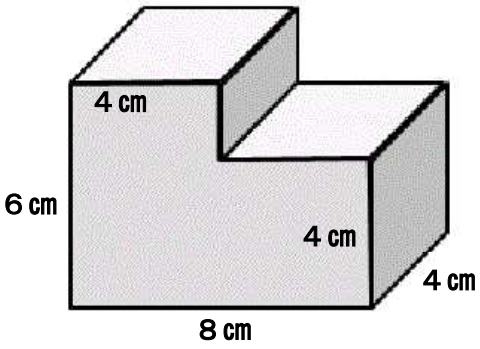


② この直方体の体積を求める式と答えを書きましょう。

→　式（　　）　答え（　　）

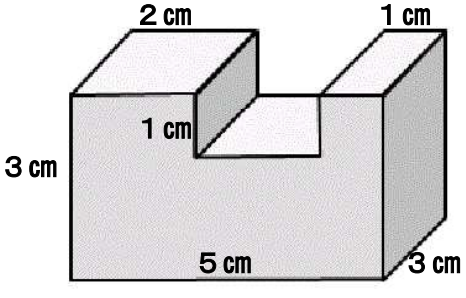
＜チャレンジ問題＞立体の体積を求めましょう。

① 式



答

② 式



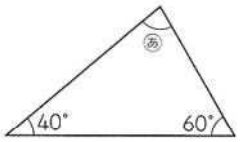
答

＜テキスト 内容⑫ 角と角度　合同＞

三角形や四角形の角の和を使って問題をといたり、合同な図形の作図ができるようになりましょう。

〈例題１〉

①

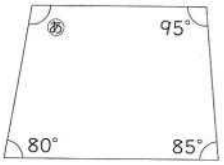


あ の角の大きさは何度ですか。

式

答え

②



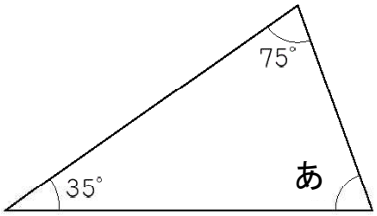
あ の角の大きさは何度ですか。

式

答え

（1） 下の三角形、四角形の あ の角の大きさを求めましょう。（求める式も書きましょう。）

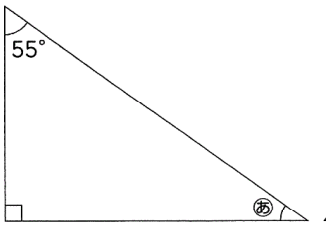
① ☆H19(A)80%



（式）

（角の大きさ）

②



（式）

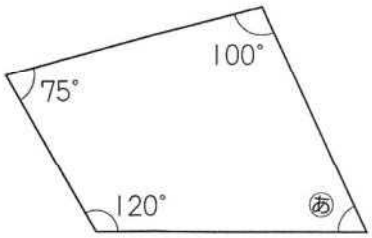
（角の大きさ）

③ ※二等辺三角形です。

（式）

（角の大きさ）

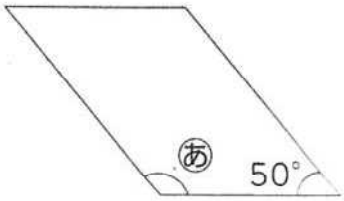
④



（式）

（角の大きさ）

⑤　※平行四辺形です。

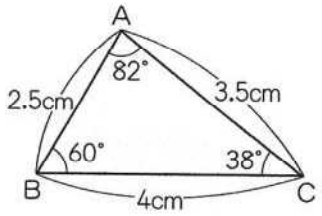


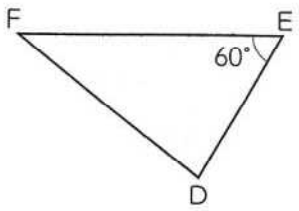
（式）

（角の大きさ）

〈例題２〉

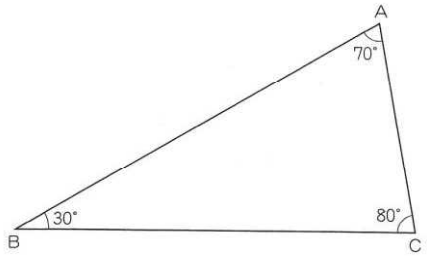
①





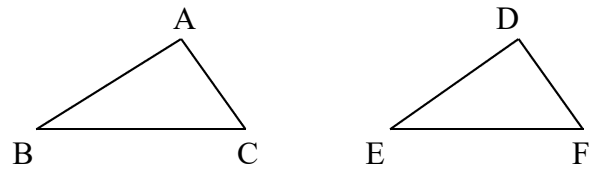
2つの三角形は合同です。
三角形DEFの辺DFの長さは
（　　）cm
角Dの大きさは
（　　）°

②



左の三角形と合同な三角形をかこうと思います。
3つの角がわかればかけますか。
（　　）
あと1つ、どこをはかればかけますか。
（　　）

（1）下の2つの三角形は合同です。



合同な図形では、対応する辺の長さは
等しく、対応する角の大きさも等しく
なっています。

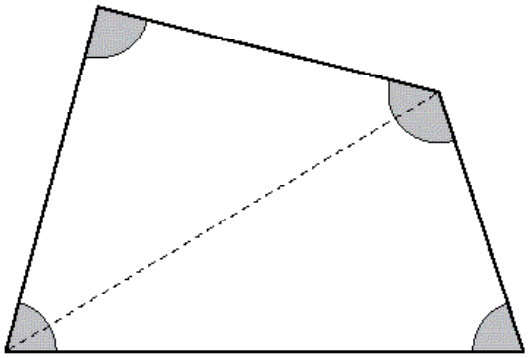
①辺ABに対応するのは辺（　　）　②角Aに対応するのは角（　　）
辺BCに対応するのは辺（　　）　角Bに対応するのは角（　　）
辺CAに対応するのは辺（　　）　角Cに対応するのは角（　　）

＜チャレンジ問題＞　H21 (A) 65%

(1) 下の図のように，四角形を２つの三角形に分けて，四角形の４つの角の大きさの和を求めます。

三角形の３つの角の大きさの和が180°であることを使って，四角形の４つの角の大きさの和を求める式を書きましょう。

ただし，計算の答えを書く必要はありません。

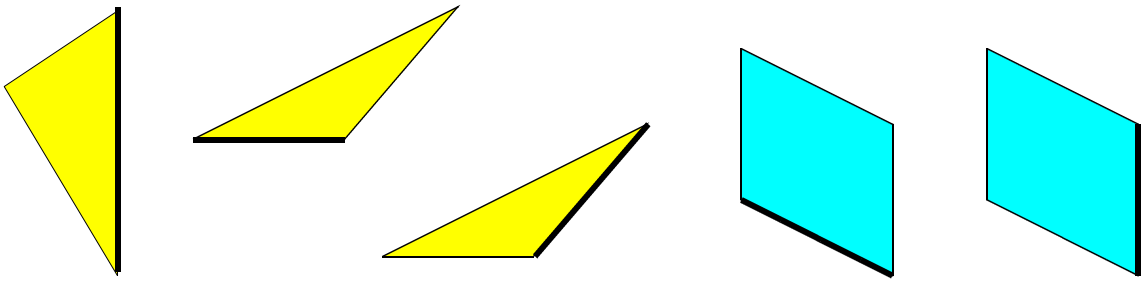


式（　　）

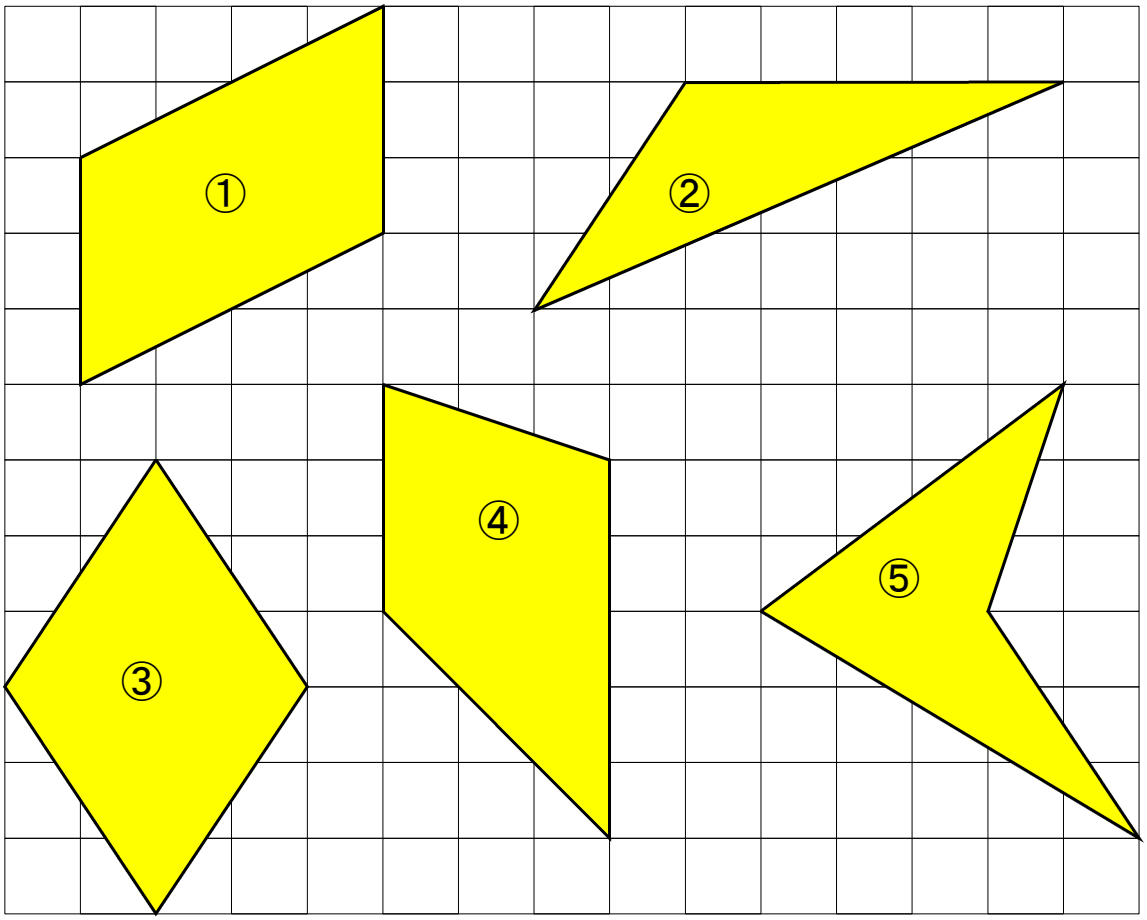
＜テキスト 内容⑬ 図形の面積2 ＞

平行四辺形や三角形の底辺や高さを見つけ、面積を求めよう。

＜例題＞ 下の図形の太線を底辺としたときの高さをかきこみましょう。



（1）下の図形の面積を求めましょう。ただし、図の１目もりは1㎝とします。



① 式　　答え

② 式　　答え

③ 式　　答え

④ 式　　答え

⑤ 式　　答え

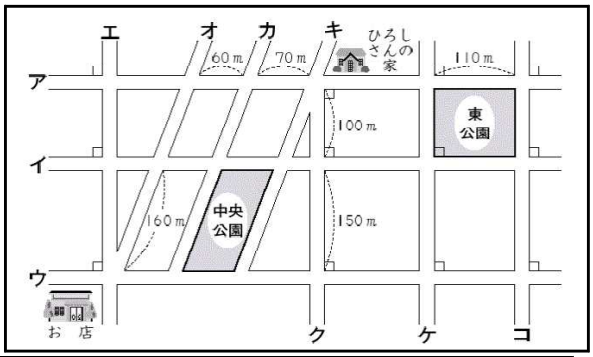
＜チャレンジ問題１＞　☆H19(B)15%

東公園の面積と中央公園の面積では、どちらのほうが広いですか。

答えを書きましょう。また、そのわけを言葉や式などを使って書きましょう。

○ 道路ア、イ、ウは、それぞれ道路ケに垂直

○ 道路ア、イ、ウは、それぞれ道路コに垂直

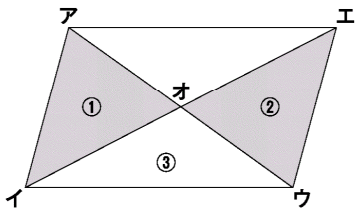


答え

＜わけ＞

＜チャレンジ問題２＞　☆H22(B)36%

たかしさんたちは、右の図のような平行四辺形アイウエに、2本の対角線をかいてできる三角形①と三角形②の面積について調べています。

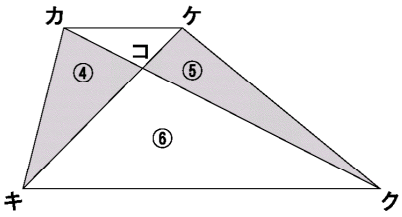


たかしさんは、三角形①と三角形②の面積が等しいことに気付きました。そして、どのように考えたのかを、下のように説明しました。

たかしさんの説明

三角形アイウと三角形エイウは、底辺と高さが同じなので、面積が等しくなります。
三角形③は、これら２つの三角形に共通しています。
三角形①と三角形②は、面積が等しい三角形から共通の三角形③をひいたものです。
だから、三角形①と三角形②の面積はひとしくなります。

次に、右のような台形カキクケに、2本の対角線をかいてできた三角形④と三角形⑤の面積について調べています。



たかしさんと同じ考え方を使って、三角形④と三角形⑤の面積が等しいことを説明すると、どのようになりますか。

下の ＿＿＿ の中に言葉を入れましょう。

三角形カキクと三角形ケキクは、底辺と高さが同じなので、面積が等しくなります。

だから、三角形④と三角形⑤の面積は等しくなります。

＜テキスト 内容⑭ 異分母分数の加減計算、分数×(÷)整数 ＞

異分母分数のたし算やひき算、分数×整数や分数÷整数の計算の仕方を説明できるようになりましょう。また、これらの計算ができるようになりましょう。

…その前に、倍数、約数、公倍数、公約数を思い出しましょう！！

(1) ①8の倍数を小さい方から5つかきましょう。(　　)
　　②12の約数を全部かきましょう。(　　)
(2)6と9の公倍数を小さい方から3つかきましょう。(　　)
(3)6と10の最小公倍数は、(　　)
(4)24と40の最大公約数は(　　)
(5)10，13，21，31のうち、素数は、(　　)と(　　)

＜例題１＞

(1) ① $\frac{1}{4}+\frac{2}{3}$　　② $\frac{5}{6}-\frac{1}{3}$

(2)次の分数を小数に、小数を分数になおしましょう。
　① $\frac{1}{4}$ (　　)　　② 0.2 (　　)

(1)次の計算をしましょう。

① $\frac{7}{12}+\frac{1}{4}$　　② $2\frac{1}{10}-\frac{1}{2}$

③ $\frac{1}{4}+\frac{1}{6}+\frac{2}{3}$

④ $\frac{2}{5}-\frac{1}{3}+\frac{7}{10}$

(2)次の分数を小数に、小数を分数になおしましょう。

① $\frac{5}{8}$ (　　)　② $2\frac{1}{2}$ (　　)　③ 0.36 (　　)

(3)次のわり算の商を分数で表しましょう。

① 3 ÷ 5 (　　)　② 6 ÷ 9 (　　)

＜例題２＞

（１） $\frac{2}{7}$ × ３　の計算の仕方を、 $\frac{1}{7}$ のいくつ分で説明します。(　　)に数字を入れましょう。

$\frac{2}{7}$ は $\frac{1}{7}$ が(　　)つ分。 $\frac{2}{7}$ × ３　は、 $\frac{1}{7}$ が(　　×　　)こで、 $\frac{6}{7}$

（２） $\frac{3}{5}$ ÷ ２　の計算の仕方を、わり算の計算のきまりを使って説明します。

わられる数、わる数の両方を整数にするために、両方に(　　)をかけます。

($\frac{3}{5}$ ×　　)÷(　×　　) ＝ ３ ÷ (　　) ＝ (　　)

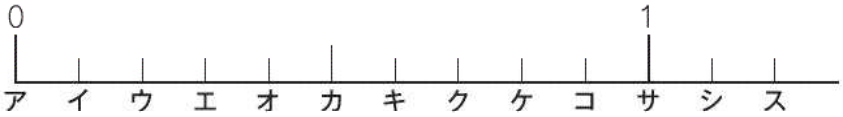
（1）① $\frac{3}{5}$ × ２　　② $\frac{2}{3}$ ×３

③ $\frac{4}{7}$ ÷ ３　　④ $1\frac{3}{5}$ ÷ ４

＜チャレンジ問題1＞　　☆H19 (A) 50%

(2) 0.5, $\frac{7}{10}$, $\frac{4}{5}$ の中で，いちばん大きい数を数直線で見つけます。
いちばん大きい数の目もりの記号を，アからスまでの中から１つ選んで，書きましょう。

答え(　　)



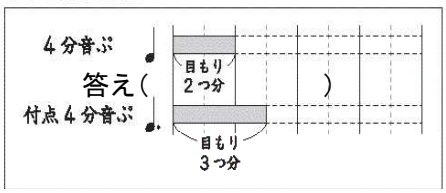
＜チャレンジ問題2＞　　☆H23 (B) 55%, 10%

かずきさんは，付点音ぷ（や）の長さについて調べました。すると，次のきまりがあることがわかりました。

付点音ぷの長さは，もとの音ぷの長さの1.5倍です。

このきまりをもとに，４分音ぷ（ ）の長さを目もり２つ分とみると，付点４分音ぷ（ ）の長さは，その1.5倍なので目もり３つ分とみることができます。
このことを図に表すと，２つの音ぷの長さの関係は，下のようになります。

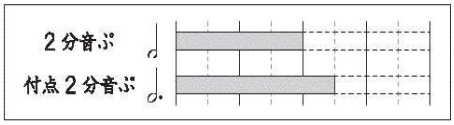
音ぷの長さの関係



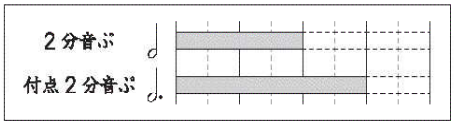
(2) 今度は，２分音ぷ（ ）と付点２分音ぷ（）の長さの関係を図に表します。

２つの音ぷの長さの関係を正しく表している図を，下の ア と イ から１つ選んで，その記号を書きましょう。また，選んだ図が正しいわけを目もりの数と言葉を使って書きましょう。

ア



イ



記号(　　)

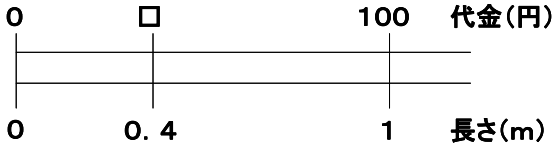
わけ

＜テキスト 内容⑮ 割合 ＞

小数のかけ算と比べながら割合の意味を理解して、割合（百分率）の問題が解けるようになろう。

…その前に、「小数をかける問題」「小数倍」を思い出しましょう！！

① １ｍ１００円のリボンがあります。
このリボン0．4m分の代金は何円ですか。

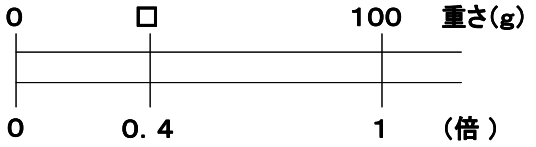


（式）

（答え）

※100円を基にして、その0．4倍の値段を求めている。

② １００ｇの重さの肉があります。
この肉の0．4倍の重さの肉は何ｇですか。



（式）

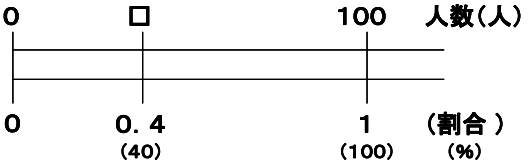
（答え）

※100gを基にして、その0．4倍の重さを求めている。

→この考え方を、ここの学習でも使います。

＜例題＞

小学生100人のうち、40%が女子です。女子の人数は何人ですか。



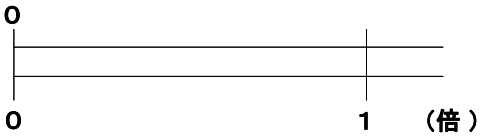
（式）

（答え）

※100人を基にして、その0．4倍の人数を求めている。　**→上の「小数倍」と同じ！！**

（1）上の例題のように、「何が基になり、何倍になっているか」を考え問題を解きましょう。

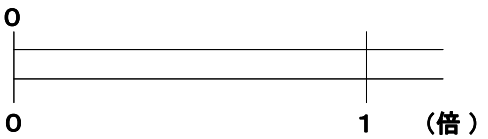
① 3月に貸し出された本の冊数は620さつで、そのうち「物語」の割合は全体の40%です。物語は何さつ貸し出されたでしょう。



（式）

（答え）

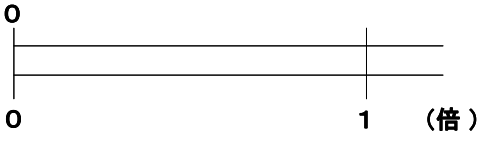
② 学校全体の畑の面積は50㎡で、そのうちじゃがいも畑は全体の70%です。じゃがいも畑の面積は何㎡でしょう。



（式）

（答え）

③ 6年生の男子の人数は80人で、これは学年全体の40%です。6年生全体の人数は何人ですか。



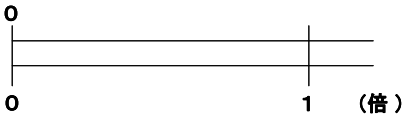
（式）

（答え）

(2)次の □ にあてはまる数を求めましょう。

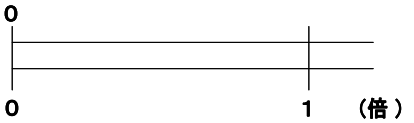
①2mは、8mの □ %です。

(式)　　(答え)



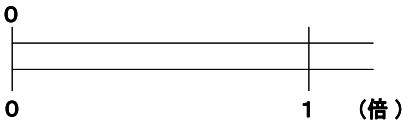
②400円の70%は □ 円です。

(式)　　(答え)



③ □ gの6割は240gです。

(式)　　(答え)



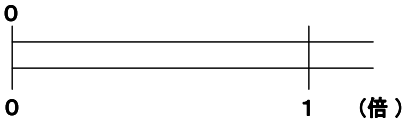
(3)ある会場に小学生が集まりました。集まった小学生200人のうち80人が女子でした。女子の人数の割合は、集まった小学生の人数の何%ですか。　☆H21 (A) 54%

(式)　　(答え)

(4)なつみさんは、定価2400円のくつを、30%引きで買いました。代金は何円ですか。

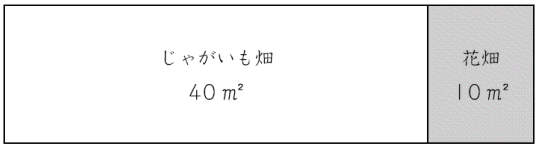
(式)

(答え)



(5)右の図は、とし子さんたちの学校の畑を表したものです。じゃがいも畑の面積40㎡は、学校の畑の面積50㎡のどれだけの割合にあたりますか。

※割合の表し方はいろいろあります。



☆H22 (A) 56%

(式)　　(答え)

＜チャレンジ問題＞　☆H22 (B) 17%

ひろしさんは、右のような定価で売られているシャツ、ズボン、くつを1品ずつ買います。

ひろしさんは、「1品に限り、定価の20%引き」と書かれている割引券を1枚持っています。

3つのうち、どれに割引券を使うと、値引きされる金額がいちばん大きくなりますか。商品の名前を書きましょう。

シャツ
定価 1900 円

ズボン
定価 3900 円

くつ
定価 5800 円

また、その商品に割引券を使うと、値引きされる金額が一番大きくなるわけを、言葉や式を使って書きましょう。

商品(　　)

わけ

解答

＜内容①＞　整数　ｐ２，３

例題１　①　３　　３０
　　②　５１０００　　５１
　　③　１億３０００万　（１３０００００００）

（１）①４５００　②３７　３７０　③５０００
　　④６０００　⑤３５０

（２）①２０２　②７９７　③５８００
　　④５１　⑤１２００００　⑥３０

（３）①９６０　②１０６００

例題２　①８００００　８４０００
　　②７４５０以上７５５０未満
　　または、７４５０以上７５４９以下
　　※問題に「整数のはんい」とあるので。

（１）　２
（２）①１２００００　②３６００００
　　③５０　④２００

＜チャレンジ問題＞
（例）※ハンカチと最も安い品物を買う場合で説明する。

ハンカチを買うと、５００－３５０＝１５０で、使える金額は残りの１５０円です。残りの３種類の中で一番安い消しゴムは２００円で、１５０円よりも高い。
だから、ハンカチを買うと、もう１種類の品物は買えない。

※ハンカチともう１種類の品物の買い方３通り全ての場合で説明してもよい。

＜内容②＞　小数　　ｐ４，５

例題１　①１　０．０１　０．０１
　　②８　３２　３　２　８
　　③４．３　５　５．７

（１）①１０　１００
　　②１０　１００
　　③０．１　④０．１

（２）①３５　②６８．３　③０．５２
　　④３．６８　⑤２　０　３
　　⑥５．３０８

（３）①２．４３　２．５　２．６１
　　②省略

（４）①ア　イ　ウ
　　②カ　ク　キ
　　③サ　ス　シ
（５）３

例題２　①０．９　②０．２
　　③１２．１７　④３．０９

（１）①７．９　②３．２　③５
　　④７．３　⑤１０．３　⑥０．５
　　⑦０．５　⑧０．６　⑨３
　　⑩７．５

＜チャレンジ問題＞
（１）　２．４＋８．７＋７．６
　　＝２．４＋７．６＋８．７
　　＝１０＋８．７
　　＝１８．７

（２）　０．７×８　＋　０．３×８
　　＝（０．７＋０．３）×８
　　＝１×８
　　＝８

＜内容③＞　分数　　６，７

例題１　①３／５　②７／５　１と２／５
③９／５　１７／６
３と２／３　４
④　＜　＜

（１）①４／７　②５

（２）１１／８　２３／６　３　２と２／７

（３）＞　＜

例題２　①４　３　②７　７　７／５

（１）①１３／９　（１と４／９も可）
②９／７　（１と２／７）　③２／１１
④２／５　⑤２と３／５　（１３／５）
⑥３と１／８　（２５／８）
⑦４と５／６　⑧２と１／６

＜チャレンジ問題＞　２

・黒いところは、長方形全体を３等分したうちの１つだから。
・長方形全体は、正方形１８個分。黒い部分は６こ分で、全体１と見ると、１／１８の６個分で、６／１８＝１／３

＜内容④＞　小数×(÷)整数　　８，９

※その前に、　０．１

例題１　０．２×６＝１．２
①２　②２×６＝１２　③１２　１．２

（１）①１．２÷３＝０．４　０．４ｍ
①０．１　１２　②１２÷３＝４　③４

例題２　①４÷２＝２　２倍
②５÷２＝２．５　２．５倍
③１÷２＝０．５　０．５倍

（１）８÷５＝１．６　１．６倍

例題３　①２．４　②０．５６　③２３．４
④０．８　⑤０．０６　⑥１．２

（１）①７４　②１８　③９７．３
④２．３　⑤１．９　⑥０．８

（２）①１．２　②０．３５　③１．２５

＜チャレンジ問題＞
①ア　５．４２×７　イ　７．５４÷２
②ア　４．５７×２　イ　２．４５÷７

＜内容⑤ ＞ 小数×小数　　１０，１１

例題１　①２．１
　　②０．２１

（１）式　５０×１．２
　①５　　１２　　６０
　②６００　　１０　　６０

（２）１０　　７．２　　１０　　０．７２

（３）①３６　②４　③０．０６　④３
　⑤０．１２８　⑥９１．８
　⑦１．０３５　⑧０．０９１

＜チャレンジ問題１＞
１０００－４０００×０．２＝２００　　２００円

＜２＞　３
＜３＞　１　４
＜４＞　午前９時４５分　　午前９時５５分

＜内容⑥＞ 小数÷小数　　１２～１３

例題１　①９６÷３＝３２　　３２円
　②代金（ねだん）÷長さ＝１ｍの代金（ねだん）
　③２００÷０．８
　④１０　　１０
　　２０００　　８
　　２５０

（１）　９６÷２．４＝４０　　４０円

例題２　３．６÷０．９＝４　　４個

（１）①７　　②２０
　③９　　④６０

例題３　①３７
　②８．７

（１）①２５　　②６．７

（２）①１．２　　②１．６

＜チャレンジ問題＞
（式）　１．５５÷０．２５＝６あまり０．０５
（答え）６本取れて０．０５ｍあまる

＜内容⑦＞　角度　　１４，１５

例題１　①頂点　　角　　２　　３
　　②角う　角か
　　あ…６０°　い…３０°　え、お…４５°

（１）①９０　②２　１８０　③４　３６０

（２）１８０－６０＝１２０　　１２０°

（３）①７０°　②１３５°

（４）①６０°　②１３０°　③２３０°

（５）省略

（６）省略

＜内容⑧＞　四角形　　１６，１７

例題１　①直角　　垂直　　②垂直
　　③垂直　　平行　　④ウ

（１）ウ　カ　　（２）省略

（３）アとウ　　オとキ　　（４）省略

例題２　①１組　　②２組　　角　　辺
　　③辺　　平行　　角

（１）　①７㎝　　５㎝　　②１１５°　　６５°

（２）①５㎝　　②辺ウエ　　辺アエ
　　③１１０°　　７０°

（３）省略

例題３　①省略　　②対角線

（１）①あ、い　　②あ、い、う、お　　③あ、お

＜チャレンジ問題１＞
①台形
②例：長方形は向かい合う辺が平行だから、できた
　四角形は、一組の向かい合う辺が平行になるから。

＜チャレンジ問題２＞　　４

＜チャレンジ問題３＞　（１）　二等辺三角形
　　（２）　直角三角形

＜内容⑨＞　計算の順序と工夫　１８，１９

例題１　①１２００　　②３
　　③２００　　④３５
　　⑤４６　　⑥８

（１）①８００　②３
　　③９００　④６
　　⑤５４　⑥８６
　　⑦４５　④３０
　　⑨５７　⑩０
　　⑪４０　⑫１５

（２）　式　１２０×３＋８０×３＝６００　６００円
　　※（１２０＋８０）×３＝６００

＜チャレンジ問題１＞

３２は４×８になります。 はじめに、２５×４を計算し、１００になります。 次に、１００を８倍し、１００×８で計算して、 答えは、８００になります。
２５×３２＝２５×（４×８） ＝（２５×４）×８ ＝１００×８ ＝８００

＜チャレンジ問題２＞

チョコレートとガムを選ぶと残りは、 ３００－（１０５＋７５）＝１２０で１２０円になる。 ３つのおかしのうち２つを選ぶとき、一番安くなる２つの合計が　６８＋６０＝１２８で１２８円になり、残りの１２０円をこえてしまう。 だから、お姉さんの言っていることは正しい。

※２つの選び方３通りを全ての場合で説明してもいい。

＜チャレンジ問題３＞　　４

※１列の８個をひとまとまりと考え、４倍しているから。

＜内容⑩＞　面積　　２２，２３

例題１　４　　６　　４×６＝２４

（１）たて（の長さ）×横（の長さ）
　　１辺（の長さ）×１辺（の長さ）

（２）①５×７＝３５　　３５ｃ㎡
　　②６×６＝３６　　３６ｃ㎡
　　③４８÷８＝６　　６ｃｍ

例題３　　６×６－３×２＝３０　　３０ｃ㎡
　　説明は省略

（１）①９×７－３×５＝４８　　４８ｃ㎡
　　②６×２＋３×６＝３０　　３０ｃ㎡

＜チャレンジ問題１＞　　２

＜チャレンジ問題２＞

すべて６×９－３×５の式で、白い部分の面積を求めることができるから。
すべての図は、同じ全体の面積から、同じ面積の植えられない部分を引くという方法で求めることができるから。

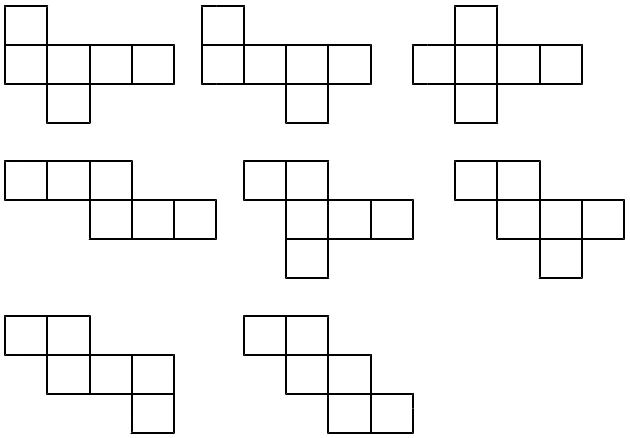
＜チャレンジ問題３＞
①１０×１０×２－５×５＝１７５
②１０×１０×５－５×５×４＝４００

＜内容⑪＞　直方体と立方体　　２２，２３

例題１　①３×６×４＝７２　７２㎤
　　②４×４×４＝６４　６４㎤

（１）①２×１０×２＝４０　　４０㎤
　　②６×６×６＝２１６　　２１６ｍ^3

（２）エ
　※立方体の展開図は１１種類あります。
　　２４ページにある３つの他は、下の通り。



例題２　①　１　　②　１００
　　③　１０００００
　　④　１０００００

（１）①４０００００
　　②　７００００
　　③　３

（２）①２　　７
　　②　式　７×５×２　　答え　　７０ｃｍ^3

＜チャレンジ問題＞
①例　４×４×２＋４×８×４＝１６０　　１６０㎤
②例　３×５×３－３×２×１＝３９　　３９㎤
　※他にも式が考えられます。

＜内容⑫＞　角と角度　合同　　２４～２５

例題１　①１８０－（４０＋６０）＝８０　　８０°
　　②３６０－（８０＋８５＋９５）＝１００
　　１００°

（１）①１８０－（３５＋７５）＝７０　　７０°
　　②１８０－（９０＋５５）＝３５　　３５°
　　③１８０－３０×２＝１２０　　１２０°
　　④３６０－（７５＋１００＋１２０）＝６５
　　６５°
　　②３６０－５０×２＝２６０
　　２６０÷２＝１３０　　１３０°
　※平行線の性質を使うと、
　　１８０－５０＝１３０　で求めることもできる。

例題２　①３．５㎝　　８２°
　　②かけない
　　辺の長さ（どの辺でもよい）

（１）①ＤＥ　　ＥＦ　　ＦＤ
　　②Ｄ　　Ｅ　　Ｆ

＜チャレンジ問題＞　１８０×２

＜内容⑬＞　図形の面積②　　２６～２７

＜例題＞　省略

（１）①３×４＝１２　　１２ｃ㎡
②５×３÷２＝７．５　　７．５ｃ㎡
③４×６÷２＝１２　　１２ｃ㎡
④（５＋３）×３÷２＝１２　　１２ｃ㎡
⑤　※上下２つの三角形に分けると考えると、
３×３÷２＋３×３÷２＝９　　９ｃ㎡

＜チャレンジ問題１＞

答え：東公園の面積の方が広い。
わけ：（例）
東公園の面積は、100 × 110 ＝ 11000 で、11000 ㎡
中央公園の面積は、70 × 150 ＝ 10500 で、10500 ㎡
だから、東公園の方が広い。

＜チャレンジ問題２＞

三角形⑥は、これら２つの三角形に共通しています。
三角形④と三角形⑤は、
面積が等しい三角形から共通の三角形⑥を引いたものです。

＜内容⑭＞　異分母分数の計算　２８～２９

（１）①　８，１６，２４，３２，４０
②　１，２，３，４，６，１２
（２）１８，３６，５４
（３）３０　　（４）８
（５）　１３，３１

＜例題１＞
（１）①１１／１２　　②１／２
（２）①０．２５　　②１／５

（１）①５／６　②８／５
③１３／１２　　④　２３／３０

（２）①０．６２５　②２．５　③９／２５

（３）①３／５　　②２／３

＜例題２＞
（１）２　　２×３
（２）５　２×５　　１０　　３／１０

（１）①６／５　②２
③４／２１　　④２／５

＜チャレンジ問題１＞　　ケ

＜チャレンジ問題２＞
記号　イ
わけ　（例）２分音符の長さを目もり４つ分とみると、付点２分音符の長さは、その１．５倍なので、４×１．５＝６となり、目もり６つ分です。だから、イが正しいです。

＜内容⑮＞　割合　３０～３１

① １００×０．４＝４０　　４０円
② １００×０．４＝４０　　４０ｇ

＜例題＞　　１００×０．４＝４０　　４０人

（１）①６２０×０．４＝２４８　　２４８人
　　②５０×０．７＝３５　　３５㎡
　　③８０÷０．４＝２００　　２００人

（２）①２÷８＝０．２５　　２５％
　　②４００×０．７＝２８０　　２８０円
　　③２４０÷０．６＝４００　　４００ｇ

（３）８０÷２００＝０．４　　４０％

（４）２４００×（１－０．３）＝１６８０
　　１６８０円

（５）４０÷５０＝０．８　　８０％
　※答えは他にも、「０．８」「０．８倍」「８割」「４／５」等がある。

＜チャレンジ問題＞
・商品　くつ
・わけ　（例）
　値引きされる金額は、「定価×値引きの割合」で求められる。どの商品に割引券を使っても、値引きの割合は２０％で同じなので、定価が高いほど値引きされる金額も大きくなる。３つの商品の中で、定価が一番高いのはくつなので、くつに割引券を使うと値引きされる金額が一番大きくなる。

　※値引きされる金額をそれぞれ計算して説明してもいい。